

第2期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略について

資料3

1 総合戦略の概要

人口減少に伴う経済力低下などの諸課題を克服し、将来にわたり社会の活力を維持するため、地域特性に応じた戦略を策定

第2期埼玉県
まち・ひと・しごと
創生総合戦略
【令和2～6年度】
(令和2年3月策定)

本県の基本的課題

1. 生産年齢人口減少への対応
2. 社会増の適切な維持
3. 自然減・少子化への対応
4. 異次元の高齢化への対応

戦略の進行管理

- 4つの基本目標を設定し、それに対応した基本指標と施策の進捗を把握するKPI(Key Performance Indicator重要業績評価指標)を設定
- 基本指標とKPIの達成状況を毎年度検証し、議会に報告

2 総合戦略の達成状況

基本目標1 県内における安定した雇用を創出する

基本指標	実績値	年度目標	到達度
1 就業率	62.2%(R4)	61.3%	101.5%
2 女性(30～39歳、40～49歳)の就業率	30～39歳 76.0%(R4) 40～49歳 79.1%	72.5% 77.3%	104.8% 102.3%
3 経営革新支援、次世代産業・先端産業支援及び企業誘致による付加価値創出額	5,420億円(R4)	4,564億円	118.8%

KPI: 14指標中、7指標が年度目標を達成

【年度目標を達成しなかった主なKPI】

- 県内雇用者の創出数
-109,329人(R2) 目標32,000人に対し、達成率-341.7%

基本目標2 県内への新しいひとの流れをつくる

基本指標	実績値	年度目標	到達度
1 人口の社会増の維持(全年齢)	19,270人(R4)	17,971人	107.2%
2 人口の社会増の維持(0～14歳)	3,363人(R4)	2,588人	129.9%

KPI: 8指標中、4指標が年度目標を達成

【年度目標を達成しなかった主なKPI】

- 若年者向け就業支援による就職確認者数
4,488人(R4) 目標6,000人に対し、達成率74.8%

基本目標3 県民の結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

基本指標	実績値	年度目標	到達度
1 合計特殊出生率	1.17(R4)	1.53	76.5%

KPI: 9指標中、4指標が年度目標を達成

【年度目標を達成しなかった主なKPI】

- 不妊検査助成件数
2,159件(R4) 目標2,408件に対し、達成率89.7%

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

基本指標	実績値	年度目標	到達度
1 健康寿命	男性 1801年(R3) 女性 2086年	男性 17.72年 女性 20.39年	101.6% 102.3%
2 75～79歳の要介護認定率	11.1%(R4)	11.6%未満	104.5%

KPI: 17指標中、8指標が年度目標を達成

【年度目標を達成しなかった主なKPI】

- 自主防災組織で防災知識の啓発活動を実施した割合
34.0%(R3) 目標83.6%に対し、達成率40.7%

基本目標1 県内における安定した雇用を創出する

～生産年齢人口減少期における経済活性化～

(1)基本指標

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
① 就業率 60.8%(H30年) → 61.5%(R6年)	62.2%(R4) 61.3%	101.5%	
② 女性(30～39歳、40～49歳)の就業率 30～39歳 71.6%(R2年) → 73.9%(R6年) 40～49歳 76.3%(R2年) → 78.3%(R6年)	30～39歳 76.0%(R4) 72.5%	104.8%	
	40～49歳 79.1%(R4) 77.3%	102.3%	
③ 経営革新支援、次世代産業・先端産業支援及び 企業誘致による付加価値創出額 累計1兆1,682億円(R6年度)	5,420億円(R4) 4,564億円	118.8%	

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
⑥ 新規就農者数 310人(H30年度) → 330人(R6年度)	332人(R4) 330人	100.6%	
⑦ 農家一戸当たり生産農業所得 1,228,382円(H29年度) → 1,687,000円(R6年度)	1,276,284円(R3) 1,326,653円(R3)	96.2%	
⑧ サービス分野に関する経営革新計画を策定した 中小企業の数 3,657社(H30年度末) → 6,500社(R6年度末)	5,975社(R4) 5,500社	108.6%	
⑨ 外国人観光客数 67万人(H30年) → 50万人(R6年)	5万人(R4) 20万人	25.0%	
⑩ おもてなし通訳案内士数 360人(H30年度末) → 750人(R6年度末)	846人(R4) 650人	130.2%	
⑪ 県の職業訓練による人材育成数 累計45,000人(R2～R6年度)	22,572人(R4) 27,000人	83.6%	
⑫ 県内雇用の創出数 累計167,000人(R2～R6年)	-109,329人(R2) 32,000人(R2)	-341.7%	
⑬ 女性キャリアセンターを活用した就職者数 1,847人(H30年度) → 1,900人(R6年度)	1,717人(R4) 1,900人	90.4%	
⑭ 埼玉しごとセンターを活用した 就職者数 a 30代女性 553人(H30年度) → 560人(R6年度) b 全就職者 4,393人(H30年度) → 4,500人(R6年度)	a 427人(R4) 560人	76.3%	
	b 3,685人(R4) 4,500人	81.9%	

(2)重要業績評価指標(KPI)

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
① 多様な働き方実践企業の認定数 2,805社(H30年度末) → 延べ4,250社(R6年度末)	3,828社(R4) 3,750社	102.1%	
② 保育所等受入枠 130,135人(H30年度末) → 153,132人(R6年度末)	147,125人(R4) 149,345人	98.5%	
③ 民間企業の障害者雇用率 2.22%(R1年) → 法定雇用率以上(R6年)	2.37%(R4) 2.3%	103.0%	
④ 新規の企業立地件数 累計250件(R2～R6年度)	174件(R4) 150件	116.0%	
⑤ 農業法人数 1,052法人(H30年度末) → 1,440法人(R6年度末)	1,322法人(R4) 1320法人	100.2%	

【検証結果】

- ◎ 基本指標はいずれも年度目標を上回り、KPIは14指標中7指標が年度目標を上回った。
- KPI②「保育所等受入枠」は、待機児童が解消したことなどによる保育所整備の見送りにより、年度目標を下回った。
- KPI⑦「農家一戸当たり生産農業所得」は、全国的な主食用米や野菜等の価格低下などにより、年度目標を下回った。
- KPI⑨「外国人観光客数」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界規模で他国への渡航が制限されたため年度目標を下回った。
- KPI⑪「県の職業訓練による人材育成数」は、施設内訓練については少子化や大学進学志向の高まりにより入校生が減少したこと、在職者訓練については新型コロナウイルス感染症の影響により受講を控える方がいたこと、委託訓練については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部講座で訓練する人数を減らしたことにより、年度目標を下回った。
- KPI⑫「県内雇用の創出数」は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い、経済活動が制限されていたため、年度目標を下回った。
- KPI⑬「女性キャリアセンターを活用した就職者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者が就職により慎重となる傾向が見られたことにより、セミナー等のオンライン実施で利用者は増えたものの就業にはつながらず、年度目標を下回った。
- KPI⑭「埼玉しごとセンターを活用した就職者数」は、新型コロナウイルスの感染拡大により減少し、経済状況の回復に合わせて一定の回復を見せているものの、回復途上のため年度目標を下回った。

基本目標2 県内への新しいひとの流れをつくる

～東京都区部への一極集中の克服～

(1)基本指標

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
① 人口の社会増の維持(全年齢) 17,036人(H30年) → 19,362人(R6年)	19,270人(R4) 17,971人	107.2%	
② 人口の社会増の維持(0～14歳) 2,396人(H30年) → 2,588人(R6年)	3,363人(R4) 2,588人	129.9%	

(2)重要業績評価指標(KPI)

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
① 若年者向け就業支援による就職確認者数 累計10,000人(R2～R6年度)	4,488人(R4) 6,000人	74.8%	
② 県内大学新規卒業者に占める不安定雇用者の割合 5.4%(H30年度) → 4.3%(R6年度)	5.8%(R3) 4.8%(R3)	82.8%	
③ 子育て応援住宅認定戸数 9,092戸(H30年度末) → 14,000戸(R6年度末)	12,683戸(R4) 12,000戸	105.7%	
④ 幅の広い歩道の整備延長 1,357km(H29年度末) → 1,445km(R6年度末)	1,424.3km(R4) 1,423km	100.1%	
⑤ SAITAMA リバーサポーターズの個人サポーター数 0人(R2年度末) → 16,000人(R6年度末)	13,018人(R4) 8,000人	162.7%	
⑥ 民間事業者などによる河川空間の利活用件数 12件(R2年度末) → 21件(R6年度末)	15件(R4) 14件	107.1%	
⑦ 観光客1人当たりの観光消費額(県外からの宿泊客) 21,031円(H30年) → 25,600円(R6年)	22,182円(R4) 22,300円	99.5%	
⑧ 観光客1人当たりの観光消費額(県外からの日帰り客) 7,158円(H30年) → 7,900円(R6年)	6,423円(R4) 7,100円	90.5%	

【検証結果】

- ◎ 基本指標はいずれも年度目標を上回り、KPIは8指標中4指標が年度目標を上回った。
- KPI①「若年者向け就業支援による就職確認者数」は、新型コロナウイルスの感染拡大により減少し、経済状況の回復に合わせて一定の回復を見せているものの、回復途上のため年度目標を下回った。
- KPI②「県内大学新規卒業者に占める不安定雇用者の割合」は、新型コロナウイルスの感染拡大により増加し、経済状況の回復に合わせて一定の回復を見せているものの、回復途上のため年度目標を下回った。
- KPI⑦「観光客1人当たりの観光消費額(県外からの宿泊客)」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が継続しているため年度目標を下回った。
- KPI⑧「観光客1人当たりの観光消費額(県外からの日帰り客)」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が継続しているため年度目標を下回った。

基本目標3 県民の結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

～少子社会からの転換～

(1)基本指標

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
① 合計特殊出生率 1.34(H30年) → 1.59(R6年)、1.78(R12年)	1.17(R4) 1.53	76.5%	

(2)重要業績評価指標(KPI)

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
① 不妊検査助成件数 2,485件(R2年度) → 2,530件(R6年度)	2,159件(R4) 2,408件	89.7%	
② 保育所等受入枠【再掲】 130,135人(H30年度末) → 153,132人(R6年度末)	147,125人(R4) 149,345人	98.5%	
③ 保育士数 27,163人(H30年度末) → 31,669人(R6年度末)	32,330人(R4) 30,930人	104.5%	
④ 子育て応援住宅認定戸数【再掲】 9,092戸(H30年度末) → 14,000戸(R6年度末)	12,683戸(R4) 12,000戸	105.7%	
⑤ パパ・ママ応援ショップの協賛店舗数 22,744店(H30年度末) → 24,500店(R6年度末)	23,564店(R4) 23,900店	98.6%	
⑥ 子供の居場所の数 380か所(R2年度) → 800か所(R6年度)	520か所(R3) -	-	R4追加指標のためR3の目標値は設定なし
⑦ 生活困窮世帯及び生活保護世帯の 学習支援対象者の高校進学率 98.3%(H30年度末) → 99.0%(R6年度末)	99.5%(R4) 99.0%	100.5%	
⑧ 多様な働き方実践企業の認定数【再掲】 2,805社(H30年度末) → 延べ4,250社(R6年度末)	3,828社(R4) 3,750社	102.1%	
⑨ 若年者向け就業支援による就職確認者数【再掲】 累計10,000人(R2～R6年度)	4,488人(R4) 6,000人	74.8%	

【検証結果】

- ◎ 基本指標は年度目標を下回り、KPIは9指標中4指標が年度目標を上回った。
- 基本指標①「合計特殊出生率」は、未婚化の進行などの影響により、目標値を下回った。
- KPI①「不妊検査助成件数」は、令和4年度から、不妊治療が保険適用されたことなどの影響により、年度目標を下回った。
- KPI②「保育所等受入枠」は、待機児童が解消したことなどによる保育所整備の見送りにより、年度目標を下回った。
- KPI⑤「パパ・ママ応援ショップの協賛店舗数」は、新型コロナウイルス感染症による経営環境の変化に伴う店舗閉店などの影響により、年度目標を下回った。
- KPI⑨「若年者向け就業支援による就職確認者数」は、新型コロナウイルスの感染拡大により減少し、経済状況の回復に合わせて一定の回復を見せているものの、回復途上のため年度目標を下回った。

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

～異次元の高齢化への挑戦～

(1)基本指標

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
① 健康寿命 男性 17.57年(H29年)→18.28年(R6年) 女性 20.36年(H29年)→21.08年(R6年)	男性 18.01年(R3) 17.72年(R3)	101.6%	
	女性 20.86年(R3) 20.39年(R3)	102.3%	
② 75～79歳の要介護認定率 11.6%(H30年)→11.6%未満(R6年)	11.1%(R4) 11.6%未満	104.5%	

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
⑦ 健康長寿サポーターの養成数 83,779人(H30年度末)→145,000人(R6年度末)	105,394人(R4) 125,000人	84.3%	
⑧ 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに取り組む市町村数 0市町村(R2年度末)→32市町村(R6年度末)	29市町村(R4) 18市町村	161.1%	
⑨ 地域公共交通計画の策定市町村数 19市町村(R2年度末)→34市町村(R6年度末)	27市町村(R4) 26市町村	103.8%	
⑩ 県内ノンステップバス導入率 73.4%(H30年度末)→85%(R6年度末)	83.1%(R4) 81.0%	102.6%	
⑪ 幅の広い歩道の整備延長【再掲】 1,357km(H29年度末)→1,445km(R6年度末)	1,424.3km(R4) 1,423km	100.1%	
⑫ 県行政手続のオンライン利用率 21.5%(R2年度)→40%(R6年度)	24.9%(R4) 30.0%	83.0%	
⑬ 地域支え合いの仕組みに参加するボランティア登録者数 5,498人(H30年度末)→6,300人(R6年度末)	4,860人(R4) 5,940人	81.8%	
⑭ 地域社会活動に参加している県民の割合 36.6%(R1年度)→38.9%(R6年度)	35.8%(R4) 36.3%	98.6%	
⑮ 自主防犯活動が実施されている地域の割合 88.9%(H30年度末)→90%(R6年度末)	88.0%(R4) 89.6%	98.2%	
⑯ 自主防災組織で防災知識の啓発活動を実施した割合 73.6%(H29年度末)→90%(R6年度末)	34.0%(R3) 83.6%(R3)	40.7%	
⑰ ふるさと創造資金(地域づくり関連)の交付件数 65件(H30年度)→60件(R6年度)	35件(R4) 60件	58.3%	

(2)重要業績評価指標(KPI)

指標	直近の実績 当該年度の目標	目標値に 対する 到達度	特記事項
① 特別養護老人ホームの整備 36,354人分(H30年度末)→43,000人分(R6年度末)	39,105人分(R4) 41,244人分	94.8%	
② サービス付き高齢者向け住宅の供給戸数 13,709戸(H30年度末)→17,300戸(R6年度末)	17,782戸(R4) 15,900戸	111.8%	
③ 介護職員数 86,612人(H29年度)→110,900人(R6年度)	98,781人(R3) 98,200人(R3)	100.6%	
④ ケアラー支援を担う福祉・教育部門の人材育成数 累計4,200人(R4年度～R6年度)	1,616人(R4) 1,400人	115.4%	
⑤ 重症救急搬送患者の医療機関への受入照会が 4回以上となってしまう割合 3.9%(H29年)→2.7%(R6年)	7.2%(R3) 3.0%(R3)	41.7%	
⑥ 人口千人当たりの刑法犯認知件数 8.2件(H30年)→5.7件(R6年)	5.7件(R4) 5.9件	103.5%	

【検証結果】

- ◎ 基本指標はいずれも年度目標を達成し、KPIは17指標中8指標が年度目標を上回った。
- KPI①「特別養護老人ホームの整備」は、事業者による計画の熟度により採択に至らないものがあることなどにより、年度目標を下回った。
- KPI⑤「重症救急搬送患者の医療機関への受入照会が4回以上となってしまう割合」は、救急搬送人員の増加に伴う医療機関の負担増などにより、年度目標を下回った。
- KPI⑦「健康長寿サポーターの養成数」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市町村等で実施する養成講習の実施回数が減少したことなどにより、年度目標を下回った。
- KPI⑩「県行政手続のオンライン利用率」は、既にオンライン化した手続(手続全体の約8割)の利用率は年度目標を上回っている(33%)が、利用者の多い福祉・医療分野では診断書等を紙で提出する必要があるためオンライン化できていないものが多いことなどから、全体としては目標値を下回った。
- KPI⑬「地域支え合いの仕組みに参加するボランティア登録者数」は、高齢化によりボランティア活動が思うようにできず、登録を解除した人が増加したことや、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業を休止・縮小する団体が多く、新規ボランティアの獲得を積極的に進めることが困難であったことなどにより、年度目標を下回った。
- KPI⑭「地域社会活動に参加している県民の割合」は、不参加の理由として「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」「参加するきっかけが得られない」「興味がない」という人が引き続き多く、また、65歳以上では「新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、地域社会活動が停滞したことなどにより、年度目標を下回った。
- KPI⑮「自主防犯活動が実施されている地域の割合」は、自主防犯活動団体の多くは自治会により構成されており、構成員の高齢化に伴う自主防犯活動団体の減少などにより、年度目標を下回った。
- KPI⑯「自主防災組織で防災知識の啓発活動を実施した割合」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、研修や講座等の集合して行う活動の実施が制限されたことにより、年度目標を下回った。
- KPI⑰「ふるさと創造資金(地域づくり関連)の交付件数」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、交付対象事業を行うことが難しく、市町村からの要望が少なかったことなどにより、年度目標を下回った。